



HAYUHA

リーフエナジー

水稻育苗での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

水稻の種籾消毒・育苗での施用例

石川県小松市 S農園 JA委託苗生産



ハピンピ液肥使用区

出荷前の苗: 右側の慣行区に比べ節間が詰まり茎が太く根の張りが良い苗半作を実現

品 種: コシヒカリ

籾消毒: 500倍希釈リーフエナジー液肥
の中に播種前3日間芽出し浸漬

育 苗: 発芽後3回2,000倍希釈リーフエ
ナジー液肥を葉面散布

観察: 発芽率極めて良好

バカ苗の発生ゼロ

慣行の種子消毒剤は使用せず

田植え直後の活着生育始まりも

4~5日早まる

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

稲作での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 苗作り

1. 種籾を、リーフエナジー液肥 500倍希釈水に播種前3日間浸漬。
(地域により籾消毒の方法が異なるので地元での方式に準拠すること)
2. 発芽後は2,000倍水を1回/週、2~3回程度葉面散布します。
肉厚葉・短節間のズングリ苗で根張りで、徒長のない「苗半作」を実現します。

(2) 本 田

1. 田植前(代かき)または直後に動噴・鉄砲散水します。
リーフエナジー液肥 1.5Lを水適量に希釈し全面に散布します。
2. 田植3週間後に葉面散布または取水口より点滴灌水をします。(動噴・鉄砲散水)
リーフエナジー液肥 0.3~0.4L 水200L
3. 出穂2週間前に2回目の葉面散布または取水口より点滴灌水をします。
リーフエナジー液肥 0.3~0.4L 水200L
4. 出穂(穂ぞろい)後3回目の葉面散布または取水口より点滴灌水をします。
リーフエナジー液肥 0.3~0.4L 水200L

ハピンピ液肥施用 計2.4~2.7L

- ※ 葉面散布は早朝または夕刻(晴天日中を避ける)
- ※ 散布後2~3日は降雨・増水等で流失しないこと
- ※ 出穂前の「中乾し」の場合は取水時に取水口に点滴でも可。ベストは葉面散布

効 果 緑葉の枯れ上がりが遅く、またコシヒカリも倒伏しません。
平均地力(8俵取)の水田で、10俵超(30%前後)の増収と
高食味高品質の収穫が約束されます。

※本田定植後の分けつも旺盛で
密植状態になります。
株間を広げ疎植にしてください。



株元の様子 (左:無散布区、右:ハピンピ散布区)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ポルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

トマト栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期

リーフエナジー液肥0.2Lを1,000~2,000倍に希釈して月3回程度葉面散布

効果 小葉肉厚葉、短茎、根張りのよいズングリ苗を生産します。
「苗半作」を実現します。

(2)定植前

リーフエナジー液肥3.0Lを水300~400Lに希釈し、全面散布した後、畝立て→マルチ→定植をします。

有機質の元肥を入れる場合は元肥に付着する様に散布してから鋤き込むと効果的です。

(3)定植

リーフエナジー液肥0.2Lを2,000倍液で苗をどぶ漬けします。

又は植穴2,000倍液1L灌水処理をします。

(4)成長~収穫期

リーフエナジー液肥1.0Lを月5~6回に分けて施用します。

葉面散布 4回(リーフエナジー液肥0.1L、水100~200L/1回) 動力噴霧機使用

※ 防除の際に2,000倍希釈液を農薬を溶かし込む水として使用すれば散布の手間が省けます。

土壌灌水 2回(リーフエナジー液肥0.3L、灌水チューブに添加)

効果 増収30%以上食味、果色の向上、日持ち延長、
なり疲れ中休みを解消します。

リーフエナジー液肥は一作(9月~6月)約10L
1,000倍~2,000倍を基準に施用します。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。
さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ミニトマト(夏秋型)栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期

リーフエナジー液肥0.2Lを1,000~2,000倍に希釈して月3回程度葉面散布

効果 小葉肉厚葉、短茎、根張りのよいズングリ苗を生産します。
「苗半作」を実現します。

(2)定植前

リーフエナジー液肥3.0Lを水300~400Lに希釈し、全面散布した後、畝立て→マルチ→定植。

有機質の元肥を入れる場合は元肥に付着するように散布してから鋤き込むと効果的です。

(3)定植

リーフエナジー液肥0.2Lを2,000倍液で苗をどぶ漬けします。

又は植穴2,000倍液1L灌水処理します。

(4)成長~収穫期

リーフエナジー液肥0.8を月3~4回に分けて施用します。

葉面散布 4回(ハピンピ液肥0.2L、水200~400L/1回)

防除の際に2000倍液を農薬を溶かしこむ水として使用すれば散布の手間が省けます。

又は、土壌灌水 2回(ハピンピ液肥0.3L、灌水チューブに添加)

効果 増収30%以上食味、果色の向上、日持ち延長、下葉の枯れ上がり、生り疲れ、中休みを解消します。

リーフエナジー液肥は一作、約6L1,000倍~2,000倍を基準に施用します。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。



HAYUHA

リーフエナジー

菊栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期(苗半作健苗生産)

サシ芽をリーフエナジー液肥2,000倍希釈液でよく水あげした後に、培土にサシ芽をします。

発根も早まり活着率がたかまります。

(2)育苗期

葉面散布 リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を散布します。

(3)定植期

定植前に圃場に、リーフエナジー液肥100~200倍希釈液を全面散布した後に、【耕うん→畝立て→定植】します。

定植後2,000倍希釈液をたっぷりと株元灌水し、根を安定させます。

(4)生長~開花期(光合成を高め硝酸態窒素の低減、病害耐性を強化)

株元灌水:リーフエナジー液肥100~200倍希釈液を月2~3回灌水します。

葉面散布:リーフエナジー液肥2,000倍希釈液月4回散布します。

(*)切り花の水あげ(流通鮮度の向上)

切り花の水あげをよくするために、ハピンピ液肥2,000倍希釈液を給水させ流通鮮度を高めます。

(*)リーフエナジー液肥の過剰施用は作物によっては生育を制御しますので

リーフエナジー液肥0.8~1.0L/月を標準としてください。

効果

肥料吸収アップ 発根量が多く根張りが旺盛になる

高収量生産 葉緑素の生成が増進し、光合成が30%アップ。

高品質生産 光合成が高まるため、茎葉中に滞留する硝酸態窒素を速やかに流転。
花色・葉色も鮮やかで流通鮮度保持に優れる。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

HAYUHA

リーフエナジー

スイカメロン栽培での用法(10アール当たり)



リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)元肥

- ・定植(3~4日前に植床にハピンピ液肥100倍希釈液300Lを全面散布し、畝だて→マルチ→定植します。

(2)定植

- 1: 定植後リーフエナジー液肥液肥2,000倍希釈水を株元にたっぷり灌水します。
- 2: ポット苗の場合は定植直前にハピンピ液肥1,000倍希釈液にポットごとドブ漬けするか、ジョーロで株元灌水してから植えつけると活着率を高めます。

(3)成長~収穫期

- 1: 摘果が終わり玉肥大期から収穫10日前までに4~5回(できれば10日間隔で)リーフエナジー液肥1,000倍希釈液300Lを葉面散布、または、株元灌注します。
- 2: 防除(殺菌・殺虫)と併用すれば散布作業の手間は増えません。先に2000倍希釈液を400L準備して、後に規定量の農薬を投入してください。石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との**混用**は避けてください。

スイカ・メロン一作でのリーフエナジー液肥使用量
原液合計4.0~4.2L

リーフエナジー液肥の施用はメロン・スイカなどの果菜類の光合成(葉緑素生成)を高め根から吸収した肥料中、特に硝酸態チツソを同化することで茎葉の生育を盛んにし、**耐病性(免疫力)を高め玉伸、食味を最高にします。**

※根張りが旺盛となり肥料の吸収効率が上がるため、元肥は緩効性の有機質中心とし、追肥は極力絞ってください(できれば追肥は省略)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。**その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。**
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との**混用**は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

カボチャ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)元肥

- ・定植(3~4日前に植床にハピンピ液肥3.0Lを300~400Lの水で希釈、全面散布し、畝だて→マルチ→定植します。

(2)定植

- 1: 定植後リーフエナジー液肥液肥2000倍希釈水を株元にたっぷり灌水します。
- 2: ポット苗の場合は定植直前にハピンピ液肥1000倍希釈液にポットごとドブ漬けするか、ジョーロで株元灌水してから植えつけると活着率を高めます。

(3)成長~収穫期

- 1: 摘果が終わり玉肥大期から収穫10日前までに4~5回(できれば10日間隔で)リーフエナジー液肥0.3Lを300~400Lの水に希釈して葉面散布、または、株元灌注します。
- 2: 防除(殺菌・殺虫)と併用すれば散布作業の手間は増えません。先に1500~2000倍希釈液を300~400L準備して、後に規定量の農薬を投入してください。
石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

リーフエナジー液肥使用量は10アール当たり1作4.0~4.2Lを標準とします。

リーフエナジー液肥の施用はカボチャなどの果菜類の光合成(葉緑素生成)を高め根から吸収した肥料中、特に硝酸態チツソを同化することで莖葉の生育を盛んにし、耐病性(免疫力)を高め玉伸、食味を最高にします。

※根張りが旺盛となり肥料の吸収効率が上がるため、元肥は緩効性の有機質中心とし、追肥は極力絞ってください(できれば追肥は省略)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

巨峰栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)元肥(休眠期~萌芽期)

リーフエナジー液肥2.0Lを水500~1,000Lに薄め樹幹枝を洗うように動噴灌水します。(石灰・硫黄合剤とは混用しない)

(2)開花前後の葉面散布(開花ぞろいと玉伸びのため)

- 1:リーフエナジー液肥0.2Lを水200~300Lに薄め葉面散布します。開花前 1回
- 2:満開7日後よりハピンピ液肥0.1Lを水200~300Lにうすめ葉面散布します。2回(7日間隔)

(3)追肥期

リーフエナジー液肥0.5L水500~1,000Lを樹冠灌水または土壌灌注します。

(4)果粒肥大期~収穫前(食味・糖度・着色向上のため)

収穫40日前からハピンピ液肥0.1L水200~300L葉面散布します。
3~4回(7日間隔)※収穫7~10日前に終わるように

(5)礼肥

収穫完了後リーフエナジー液肥0.5L水500~1,000Lを樹冠灌水又は土壌灌注
リーフエナジー液肥合計3.7~3.8Lを施用します

効果

細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。
新葉に停滞する硝酸態窒素が低減し病害に強く果実の食味(糖度)・色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます。
リーフエナジー液肥の葉面散布は葉緑素増加させ光合成を30%アップし、ブドウ糖の生産も30%増えます。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ぶどう栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

(1)元肥(休眠期~萌芽期)

リーフエナジー液肥250倍希釈液500Lを樹幹枝を洗うように動噴灌水します。

(石灰・硫黄合剤とは混用しない)

(2)開花前後の葉面散布(芽かき、摘粒期)

リーフエナジー液肥1,000倍希釈液200Lを開花前に葉面散布します。

満開7日後より7日間隔2回程度でハピンピ液肥2,000倍希釈液200Lを葉面散布します

(3)果粒肥大期~収穫前(食味・糖度・着色向上のため)

収穫40日前からハピンピ液肥2,000倍希釈液200Lを3~4回7日間隔で葉面散布します。(収穫7~10日前までに終わるように散布します。)

(4)礼肥

収穫完了後リーフエナジー液肥1,000倍希釈液500Lを樹冠灌水または土壌灌注します。

リーフエナジー液肥合計3.2~3.4Lを施用します

効果

細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く果実の食味(糖度)色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

果菜(キュウリ・ナス・ピーマン) 栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期

リーフエナジー液肥0.2L、1,000~2,000倍に希釈をして月3回程度葉面散布

効果

小葉肉厚葉、短茎、根張りの良いズングリ苗を生産します。
「苗半作」を実現します。

(2)定植

定植前にリーフエナジー液肥2.0Lを水400~600L(200~300倍)に希釈し、
全面散布した後に 畝立て⇒マルチ⇒定植 します。

(3)成長~収穫期

リーフエナジー液肥0.8~1Lを月3~4回に分けて施用します。

葉面散布 4回(ハピンピ液肥0.1L、水100~300L/1回)動力噴霧機使用
葉の裏側がヌレると更によい。

土壤灌水 1回(ハピンピ液肥0.6L、灌水チューブに添加)

効果

増収平均30%と食味、果形・果色の向上、日持ち延長、なり疲れ中休み防止等高品質生産を確実にします。ナス栽培での高温期の着色不良(色ボケ)を解消します。

リーフエナジー液肥合計は一作5.0~8.0L前後を施用します

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

小松菜栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。
主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など
21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(土耕でのハピンピ液肥の施用)

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥2.0Lを水400~600Lにうすめ圃場全面または播種床畦に散布

(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種・定植する。

(連作障害やセンチウの抑制効果もある)

栽培30~40日の促成野菜では、二作毎に1回散布

(2) 生育期間中の葉面散布

栽培30~40日の促成野菜では生育の後半、収穫の4~5日前までにリーフエナジー液肥0.2L
水を200~300Lにうすめ4回葉面散布する。

更に間引き・土寄せ・追肥・防除に併せてリーフエナジー液肥0.4Lを水400~500Lにうすめ1
回葉面散布する。

リーフエナジー液肥は酸性が強いので必ず**1000倍以上**に希釈して施用する。

1000倍希釈 PH 5.3

2000倍希釈 PH 6.5

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。
さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

レタス栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(土耕でのリーフエナジー液肥の施用)

*水耕栽培・植物工場での施用は御相談ください

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥500倍希釈液300~500Lを圃場全面に散布

(動噴・Sスプレー)し耕起⇒定植する。(連作障害やセンチウの抑制効果もある)栽培30~40日の促成野菜では、二作毎に1回散布



◎ポット(セル)・トレー育成の場合は移植までに2,000倍希釈液を3~4回葉面散布し「苗半作」の健苗を作ります。根鉢になり機械でのセル抜取に適した苗に育ちます。

(2) 生育期間中の葉面散布

栽培30~40日の促成野菜では生育の後半、収穫の4~5日前までに

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液200~300Lを4回葉面散布する。

更に追肥・防除に併せて農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400~500Lを使用して葉面散布する。

結球前などの追肥を控える時期にはハピンピ液肥の施用も控えて下さい。
リーフエナジー液肥は酸性が強いので必ず**1000倍以上**に希釈して施用する。

1000倍希釈 PH 5.3

2000倍希釈 PH 6.5

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。



HAYUHA

リーフエナジー

ネギ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥500倍希釈液300Lを元肥にかけるように散布(動噴・Sスプレー)し定植します。

(2) 生育期間中の葉面散布

定植時の灌水にはリーフエナジー液肥2000倍希釈液を使用します。

さらに追肥・防除に併せて、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを1回葉面散布します。

生育の後半、収穫の4~5日前までにリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを3~4回葉面散布すると香りがよくなり、棚持ちが良くなります。

追肥を控える時期にはハピンピ液肥の施用も控えてください

リーフエナジー液肥は酸性が強いので単独施用でも必ず**1500倍以上**に希釈して施用してください。

1000倍希釈 pH 5.3

2000倍希釈 pH 6.5

(ネギ栽培にはリーフエナジー液肥施用時にpH5.5~6.5を維持してください)



◎ポット(セル)・トレー育成の場合は移植までに2,000倍水を3~4回葉面散布し「苗半作」の健苗を作ります。根鉢になり機械でのセル抜取に適した苗に育ちます。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との**混用**は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

いちご栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期

・リーフエナジー液肥を2000倍に希釈して月3回程度葉面散布。

効果 小葉肉厚葉, 短茎、根張りのよいズングリ苗を生産します。
「苗半作」を実現します。

(2)定植前

・定植前にリーフエナジー液肥200倍希釈水400Lを全面散布した後に畝立て⇒マルチ⇒定植します。

(3)成長~収穫期

・リーフエナジー液肥2,000倍希釈水を月3~4回葉面散布してください。
また、灌水チューブでの土壤灌水にも2,000倍希釈水をご利用ください。

効果 増収30%以上(2L,3L大玉収穫)、糖度3~4度アップ
食味、色づき良く、日持ち延長、なり疲れ中休み防止

リーフエナジー液肥は、一作(9月定植、4月末まで収穫)約9.0L、2000倍を基準に施用します。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

りんご栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

(1)元肥(休眠期~萌芽期)

リーフエナジー液肥2.0L(1.0L×2)水500~1,000Lを樹幹枝を洗らうように動噴灌水します。(石灰硫黄合剤とは混用しない)

(2)果実肥大期(玉伸び・大玉づくりのために)

着果・摘蕾後の果実肥大はじめにリーフエナジー液肥0.3L水300~600Lを葉面散布します。2回

(3)収穫前(食味・糖度・色あがり向上のため)

収穫30~40日前からリーフエナジー液肥0.2L水200~300L葉面散布3~4回(7日間隔)※収穫7~10日前に終わるように

(4)礼肥

収穫完了後リーフエナジー液肥0.5L水500~1,000Lを樹冠灌水又は土壤灌注します。

リーフエナジー液肥合計3.7~3.9Lを施用します

効果

樹勢アップ! 細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。
糖度・食味アップ! 新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く果実の食味(糖度)
高品質・増収! 色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます
ほかにも 花芽の充実、なり疲れしない、色上がりがいい、隔年結果がでない
生理落下しない、被害葉の回復など**抜群の効果**があります!!!

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

さくらんぼ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

さくらんぼでのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

- (1) 芽だし肥(発根促進・花ぞろえ)
摘蒼とともに樹冠灌水(樹を洗うとともに土壤灌水する)
1回につきリーフエナジー液肥0.8L、水800Lで希釈したものを動噴する(期間中 2回)
樹幹枝を洗うように動噴灌水します。(石灰硫黄合剤とは混用しない)
- (2) 開花期(活力ある花ぞろい)
リーフエナジー液肥0.2Lを水400Lで希釈したものを葉面散布(期間中2回)
- (3) 果実肥大期(生理落下防止・玉伸び・色づき・食味向上のため)
収穫30~40日前からリーフエナジー液肥0.2Lを水400Lで希釈したものを樹冠灌水(期間中3回)
- (4) 収穫終了後(花芽分化に備えて、礼肥・元肥)
収穫完了後リーフエナジー液肥0.5Lを水1,000Lで希釈したものを樹冠灌水又は土壤灌注します。
リーフエナジー液肥合計3.7~3.9Lを施用します

効果

樹勢アップ! 細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。
糖・食味アップ! 新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く果実の食味(糖度)
高品質・増収! 色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます
ほかにも 花芽の充実、なり疲れしない、色上がりがいい、隔年結果がでない
生理落下しない、被害葉の回復など**抜群の効果**があります!!!

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

モモ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

(1)元肥(休眠期~萌芽期)

リーフエナジー液肥500倍希釈水1,000Lを樹幹枝を洗らうように動噴灌水します。(石灰・硫黄合剤とは混用しない)

(2)果実肥大期(玉伸び・大玉づくりのために)

着果・摘蕾後の果実肥大はじめにリーフエナジー液肥1,000倍希釈水300Lを葉面散布します。(2回程度)

(3)収穫前(食味・糖度・色あがり向上のため)

収穫30~40日前からリーフエナジー液肥2,000倍希釈水400~500Lを葉面散布します。

3~4回(7日間隔)収穫7~10日前に終わるように散布をします。

(4)礼肥

収穫完了後リーフエナジー液肥1,000倍希釈水500Lを樹冠灌水又は土壤灌注します。

効果

細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く果実の食味(糖度)色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

柿栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

(1) 元肥(休眠期~萌芽期)

リーフエナジー液肥2.0L(1.0L×2)水500~1,000Lを樹幹枝を洗うように動噴灌水します。(石灰・硫黄合剤とは混用しない)

(2) 果実肥大期(玉伸び・大玉づくりのために)

着果・摘蕾後の果実肥大はじめにリーフエナジー液肥0.3L水300~600Lを葉面散布します。2回

(3) 収穫前(食味・糖度・色あがり向上のため)

収穫30~40日前からリーフエナジー液肥0.2L水200~300L葉面散布3~4回(7日間隔)※収穫7~10日前に終わるように

(4) 礼肥

収穫完了後リーフエナジー液肥0.5L水500~1,000Lを樹冠灌水又は土壤灌注します。

リーフエナジー液肥合計3.7~3.9Lを施用します

効果

細根が増えて肥料吸収が良くなると共に樹勢が力強くなります。新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く果実の食味(糖度)色・玉伸びがよく高品質と高収量を達成できます。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

大豆栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前

リーフエナジー液肥1,000倍希釈液200Lを圃場全面散布する。
(元肥として堆肥を使用する場合は、すきこむ前に堆肥にくっつけるように散布してすきこむ。)

(2) 生長期

中耕・培土作業時にリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を葉面散布する。
※水量は土壤水分の多少によって加減する。

(3) 生長期(開花前・登熟期)ー防除作業と併用※

開花直前及び、登熟期にリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を葉面散布する。

防除の際リーフエナジー液肥2000倍希釈液を農薬を溶かす水として使用すると散布の手間が省けます

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。



HAYUHA

リーフエナジー

蕎麦栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前(元肥・病害菌抑制)耕起時

リーフエナジー液肥を500倍に希釈し200~300Lを圃場全面に(または畦筋にそって)散布する。---【液肥量0.4~0.6L】
(元肥として堆肥を使用する場合は、すきこむ前に堆肥にくっつけるように散布してすきこむ。)

(2) 播種後

播種2~3週間後にリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を圃場全面に葉面散布をする。
(可能であれば、開花前に2度散布する)---【液肥量0.4~0.6L】



リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

アスパラ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1年目)播種→育苗→本圃定植→根株養成→休眠

本圃定植前にリーフエナジー液肥1,000倍希釈液300Lを全面散布して耕起畦立てします。

* 苗床の土壤消毒される場合は、消毒後5日以上間を置いて散布します。

休眠までに

中耕・追肥時の際はハピンピ液肥1,000倍希釈液300Lを3回灌水します。

(除草・防除の際にはハピンピ液肥2,000倍希釈液400Lを使用してください)

リーフエナジー液肥施用合計0.9~1.2L/年

(2年目以降)

春肥期リーフエナジー液肥1,000倍希釈液300Lを萌芽30日前までに灌水します。

夏秋採り前の養成期に

リーフエナジー液肥1,000倍希釈液300Lを灌水します。

除草・中耕・追肥・防除時に

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを2~3回灌水します。

立茎栽培中は葉面散布(細霧)にしてください。

生育状況を見て10アール当り尿素300gを灌水に加えて散布すれば多収が期待出来ます。

リーフエナジー液肥施用合計1.0~1.2L/年

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ブロッコリー栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥500倍希釈液400Lを圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種・定植する。



◎ポット(セル)トレー育成の場合は移植までに2,000倍水を2~4回葉面散布し「苗半作」の健苗を作ります。根鉢になり機械でのセル抜取に適した苗に育ちます

(2) 生育期間中の葉面散布

出蕾期までにリーフエナジー液肥2,000倍希釈液200Lを7日から10日毎に4回葉面散布する。

活着後と中耕土寄せの時期の追肥に併せてハピンピ液肥2,000倍希釈液400Lを1回葉面散布する。

側花蕾収穫の場合は、頂花蕾収穫後の追肥に併せてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを1回葉面散布する。

花蕾形成時などの追肥を控える時期にはハピンピ液肥の施用も控えて下さい。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。



HAYUHA

リーフエナジー

ビーツ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前の圃場散布

農薬土壌殺菌一週間後に、リーフエナジー液肥2.0Lを水400~600Lにうすめ圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種します。

(連作障害やセンチウの抑制効果もあります。)

(2) 生育期間中の葉面散布

- ・間引き後リーフエナジー液肥0.4Lを水400~500Lにうすめ1回葉面散布します。
- ・収穫前30日頃より収穫の4~5日前までにハピンピ液肥0.2Lを水200~300Lにうすめ7日から10日毎に3回葉面散布します。

リーフエナジー液肥は一作、約3.0Lを施用します。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ビート栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 育苗期

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を2回程度一週間おきに散布します。
1冊のポット(1,200株分)に1Lが目安です
(立枯れ病防除時に行うと手間が省けます。
その際はまず2,000倍希釈液を作り防除剤を投入してください)

(2) 定植後 根部肥大開始~茎葉繁茂期~根部肥大期

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を6月末から9月中旬にかけて2~3週間おきに6~7回葉面散布します。
(アブラムシ・褐斑病・ヨトウムシ・葉腐れ病等の防除時に行うと手間が省けます。
その際はまず2,000倍希釈液を作り防除剤を投入してください)

(3) 直播きの場合

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を6月中旬頃の防除時から9月中旬にかけて2~3週間おきに7~8回葉面散布します。

効果

良質の苗に！	細根が増えて肥料吸収が良くなりズングリ苗になります。
糖度アップ！	新葉に停滞する硝酸チツソが低減し病害に強く、糖度が高くなり
高品質・増収！	高品質と高収量を達成できます

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

大根栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前の圃場散布

農薬土壌殺菌一週間後に、リーフエナジー液肥2.0Lを水400~600Lにうすめ圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種します。(連作障害やセンチウの抑制効果もあります。)

(2) 生育期間中の葉面散布

- ・ 間引き後リーフエナジー液肥0.4Lを水400~500Lにうすめ1回葉面散布します。
- ・ 収穫前30日頃より収穫の4~5日前までにリーフエナジー液肥0.2Lを水200~300Lにうすめ7日から10日毎に3回葉面散布します。

ハピンピ液肥は一作、約3.0Lを施用します。



リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ホウレン草栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥2.0Lを水400~600Lにうすめ圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sプレーヤー)し耕起畦立て⇒播種・定植します。

(連作障害やセンチウの抑制効果もあります。)

定植までに7~10日程間隔を空けてください)

* 土壌PHに御注意ください。ハピンピ液肥は酸性の強い資材です。

(ホウレン草はPH5.2以下では成長が止まります)

栽培30~40日の促成野菜では、元肥としては二作毎に1回散布

(2) 生育期間中の葉面散布

栽培30~40日の促成野菜では生育の後半、収穫の4~5日前までに

リーフエナジー液肥0.2L水を300~400Lにうすめ4回葉面散布します。

更に間引き・土寄せ・追肥・防除に併せてハピンピ液肥0.2Lを水300~400Lにうすめ1回葉面散布する。

* 水耕栽培(溶液土耕を除く、循環型)の場合は10,000倍希釈にて御利用ください。

リーフエナジー液肥は酸性が強いので必ず**1500倍以上**に希釈して施用してください。

1000倍希釈 PH 5.3

2000倍希釈 PH 6.5

(ホウレン草栽培にはハピンピ液肥施用時にPH5.5~6.5を維持)

PH5.2以下では成長が止まります



- ・ハピンピ液肥は鉄分強化、硝酸態窒素低減に効果的です。
- ・収穫時の曇天続きや土壌に過剰な肥料の残りのある場合にはハピンピ液肥で光合成を活発にしても硝酸態窒素が下がりきらない時もあります。
- ・その際は根切り等の特殊な方法もご検討ください。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

サヤエンドウ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前(元肥・病害菌抑制)

リーフエナジー液肥1.5~2.0L、水150~200L(100倍・水量増減自由)を圃場全面(または畦筋にそって)散布後に耕うん・播種します。元肥に有機質資材(堆肥など)を使用する場合は、元肥に付着するように散布した後、鋤き込みます。

(2) 生長期

1. 第1回中耕・培土(播種後25日前後)作業前または同時にリーフエナジー液肥0.2L、水400Lを株元灌水します。
2. 第2回中耕・培土(播種後40日前後)作業前または同時にリーフエナジー液肥0.3L、水600Lを株元灌水します。
※水量は土壌水分の多少によって加減します。

(3) 生長期(開花前・登熟期)ー防除作業と併用※

1. 開花直前にリーフエナジー液肥0.3L、水600L~900Lを葉面散布。
2. 登熟期にリーフエナジー液肥0.3L、水600L~900Lを葉面散布。

防除の際リーフエナジー液肥2000倍希釈液を農薬を溶かす水として使用すると散布の手間が省けます。

リーフエナジー液肥は一作、約2.6~3.0Lを施用します。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

白菜栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥0.5~0.6L、300~500Lの水に希釈をして元肥にかける様に散布(動噴・Sスプレーヤー)し、定植します。

セル苗を移植の際は2,000倍希釈液に瞬時にどぶ漬けして定植すると活着促進となります。

(2) 生育期間中の葉面散布

育苗・定植時の灌水にはリーフエナジー液肥を2,000倍希釈水を用います。さらに、追肥・防除に併せてリーフエナジー液肥0.2Lを400Lに希釈したものを4~5回葉面散布をします。

追肥を控える時期(結球前)にはハピンピ液肥の施用も控えてください。

リーフエナジー液肥はさんせいが強いので必ず1,500倍以上に希釈して施用する。

1,000倍希釈液 pH5.3

2,000倍希釈液 pH6.5

(白菜栽培にはハピンピ液肥施用時にpH5.5~6.5を維持の事)



◎ポット(セル)・トレー育成の場合は移植迄に

2,000倍希釈液を3~4回葉面散布し

「苗半作」の健苗を作ります。

根鉢になり機械でのセル抜取に適した苗に育ちます。

(写真はキャベツ苗)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302

TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

キャベツ栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種・定植前の圃場散布

リーフエナジー液肥200倍希釈液400~600Lを圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種・定植します。
(連作障害やセンチウの抑制効果もある)

(2) 生育期間中の葉面散布

結球開始前までにリーフエナジー液肥2,000倍希釈液200~300Lを7日から10日毎に4~5回葉面散布します。

中耕または追肥に併せてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400~500Lを葉面散布します。

結球前などの追肥を控える時期にはハピンピ液肥の施用も控えて下さい。



リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

スイートコーン栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 圃場準備

定植前にリーフエナジー液肥0.5Lを水250L(500倍)に希釈し、畝筋灌水。
(耕起⇒元肥⇒畝立て⇒ハピンピ液肥散布)

(2) 播種

(直播)リーフエナジー液肥散布1~2日後に播種。

(育苗)リーフエナジー液肥を500倍に希釈して、セルトレー・ポッドに培土散水混合し1~2日後に播種。

(定植後)リーフエナジー液肥を1000~2000倍に希釈して灌水。

(3) 成長期

(追肥・中耕)リーフエナジー液肥0.3Lを水300L(1000倍)に希釈し、葉面散布。
(アミノ酸入り液肥等と混合する場合は2000倍希釈)

(4) 出穂前

リーフエナジー液肥0.1~0.2Lを水200L(1000~2000倍)に希釈し、葉面散布。
(雄穂展開直前に散布)

(5) 受粉後

リーフエナジー液肥0.1~0.2Lを水200L(1000~2000倍)に希釈し、葉面散布。

リーフエナジー液肥合計 1.0~1.2L/年 を施用します。

ハウス半促成栽培(播種2~5月)、トンネル栽培(播種3~6月)、マルチ栽培(播種4~7月)の作型では露地直播に準じて下さい。(苗定植後1000~2000倍灌水)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

にんじん栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 播種前の圃場散布

農薬土壌殺菌一週間後に、リーフエナジー液肥200倍希釈液を400~600L圃場全面または播種床畦に散布(動噴・Sスプレー)し耕起畦立て⇒播種する。(連作障害やセンチウの抑制効果もある)

(2) 生育期間中の葉面散布

間引き後リーフエナジー液肥2,000倍希釈液400~500Lを1回葉面散布する。

収穫前30日頃より収穫の4~5日前までにリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を200~300L、7日から10日毎に4~5回葉面散布する。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

ながいも栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 圃場準備

リーフエナジー液肥200倍希釈液300Lを元肥施用直後に、元肥にかけるように全面散布し耕運畦立て、マルチ処理をします。

※圃場の土壌消毒をされる場合は消毒後5日以上間を置いて散布します。

(2) 本畑定植

いも苗を植付けた後、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を400Lを灌水します。

(3) 生育肥大期

・生育初期～中期

活着発根→新芽伸長期、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを3~4回葉面散布します。

(第1回のチツソ肥料追肥、6~8月の防除に併せて行うと手間が省けます。7~10日以上間隔をあけてください。)

・肥大期

いもの肥大期にリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを3~4回葉面散布します。

(第2~3回チツソ肥料追肥、9~10月の防除に併せて行うと手間が省けます。収穫の4~5日前までに7~10日以上の間隔をあけてください。)

ながいも一作でのリーフエナジー液肥使用料
原液合計2.9~3.3L/10アール

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302

TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp

HAYUHA

リーフエナジー

やまいも栽培での用法(10アール当たり)



リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 圃場準備

リーフエナジー液肥200倍希釈液300Lを元肥施用直後に、元肥にかけるように全面散布し耕運畦立て、マルチ処理をします。

※圃場の土壌消毒をされる場合は消毒後5日以上間を置いて散布します。

(2) 本畑定植

いも苗を植付けた後、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を400Lを灌水します。

(3) 生育肥大期

・生育初期～中期

活着発根→新芽伸長期、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを3~4回葉面散布します。

(第1回のチツソ肥料追肥、6~8月の防除に併せて行うと手間が省けます。

まずハピンピ液肥の2,000倍希釈液を作りその中に防除剤を入れてください)

・肥大期

いもの肥大期にリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lを3~4回葉面散布します。

(第2~3回チツソ肥料追肥、9~10月の防除に併せて行うと手間が省けます。

収穫の4~5日前までに7~10日以上の間隔をあけてください。)

やまいも一作でのリーフエナジー液肥使用料

合計2.9~3.3L/10アール

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302

TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

にんにく(寒冷地品種)栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 定植前の圃場準備

リーフエナジー液肥500倍希釈液、300Lを、元肥にかけるように散布(動噴・Sスプレイヤー)した後耕起畦立てします。

(土壌のpHが酸性に行き過ぎないようにpH6.5近辺を維持してください。)

(2) 生育期間中の葉面散布

第2回目の追肥(2月頃)に併せてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液400Lに希釈し、1回葉面散布します。

生育の後半(4~6月頃)、収穫の4~5日前までにハピンピ液肥2,000倍希釈液400Lを、3~4回葉面散布すると玉のびが良くなります。

(玉のびが良くなりすぎないように収穫時期に注意してください)

にんにく一作でのリーフエナジー液肥使用料
原液合計1.4~1.6L/10アール

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

柑橘類栽培での用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのハピンピ液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

- (1) 春の基肥(芽出し肥) <発根量の増大と促進>
リーフエナジー液肥1,000倍希釈液1,000Lを土壤灌水します。
- (2) 果実肥大期 <玉伸び大玉づくりのために>
着果・摘果後の果実肥大はじめに、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液500Lを葉面散布します。(2回散布が望ましい)
- (3) 収穫期 <食味(糖度)色あがりを高めるために>
収穫前30~40日前からリーフエナジー液肥1,000倍希釈液、500Lを3~4回葉面散布します。
- (4) 夏・秋肥(礼肥) <来年に備えて>
収穫直後あるいは7~8月の夏の灌水にリーフエナジー液肥1,000倍希釈液500Lを葉面散布あるいは土壤灌水します。

リーフエナジー液肥を年間で4.0Lを適期に施用して高品質・高収量を確実にします。



写真説明 清見オレンジ2年生苗
4月定植リーフエナジー液肥0.015L水15~20L灌水
7月 リーフエナジー液肥0.015L水15~20L灌水
10月 抜根調査樹高
試験区(右)130cm 対照区90cm(左)

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

みかんでの用法(10アール当たり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

果樹類でのリーフエナジー液肥の標準用法は、植栽密度・樹齢・樹形・開花・収穫期の違い等、一概に決めかねます。ハピンピ液肥の施用時期・用量・用法の基本は、次のように考え自園の管理体系に組み込んでください。

(1) 春の基肥(芽出し肥) <発根量の増大と促進>

リーフエナジー液肥1,000倍希釈液1,000Lを土壤灌水します。

(2) 果実肥大期 <玉伸び大玉づくりのために>

着果・摘果後の果実肥大はじめに、リーフエナジー液肥2,000倍希釈液500Lを葉面散布します。(2回散布が望ましい)

(3) 収穫期 <食味(糖度)色あがりを高めるために>

収穫前30~40日前からリーフエナジー液肥1,000倍希釈液、500Lを3~4回葉面散布します。

(4) 夏・秋肥(礼肥) <来年に備えて>

収穫直後あるいは7~8月の夏の灌水にリーフエナジー液肥1,000倍希釈液500Lを葉面散布あるいは土壤灌水します。

リーフエナジー液肥を年間で4.0Lを適期に施用して高品質・高収量を確実にします。

防除の際に、まずリーフエナジー液肥の2,000倍希釈液をつくり
その中に規定量の防除薬を入れて葉面散布すれば追加の手間がかかりません

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302

TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

芝・スポーツターフでの使用方法

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20～30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

グリーン・フェアウェイへの施用

(1) 土壌灌水：根部に養分をとどけることを目的

リーフエナジー液肥500ml＋水500L/(500㎡)を春・秋各1回施用します。
雨中散布可能。前散水直後の施用であれば500倍希釈液も可能です
リーフエナジー液肥500ml＋水250L/(500㎡)

(2) 葉面散布：

リーフエナジー液肥150ml＋水300L/(500㎡)を月/2～3回を継続します。

リーフエナジー液肥総施用量(原液5000ml/500㎡/年)

- * ハピンピ液肥の水希釈倍率は2,000倍散布を標準としますが、スプリンクラー散水、夜つゆ、朝つゆ、雨上がりでターフ、土壌水分多い場合は500～1,000倍水の散布でもよいです。
- * 初めて土壌灌水する場合はハピンピ液肥500ml＋水500L/(500㎡)を1週間おきに3回施用すると発根が促進されます。



茨城県太平洋クラブ&アソシエイツ美野里コース(ナーセリー)
7月末リーフエナジー液肥1CC/水1L/㎡散布
8月初旬リーフエナジー液肥2CC/水1L/㎡散布
2回目散布1週間後調査

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

玉ねぎでの使用方法(10アールあたり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1)育苗期

本葉2枚に育ち間引き後 リーフエナジー液肥の2000倍希釈液を葉面散布します。定植できる大きさに育つまでの間に2~3回葉面散布をしてください。

(2)定植前の圃場散布

定植1週間前までに リーフエナジー液肥の1000倍希釈液を200~300L圃場全面に散布します。

(3)定植期

定植時の灌水にはリーフエナジー液肥2000倍希釈液を使用してください。定植後 2~3回 2000倍希釈液で葉面散布してください。

除草や防除作業のときに 初めにリーフエナジー液肥の2000倍希釈液を作りその中に農薬を入れていただけると追加の労力を省けます。ただし強アルカリ性の農薬との混用は避けてください。

リーフエナジー液肥の2000倍希釈液はpH6.5となりますので、玉ねぎの育成にも問題ありません。希釈液は毎回使い切りください。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

- * 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。
その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。
- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail : info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

じゃがいもでの使用方法(10アールあたり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

(1) 圃場の準備

種イモの植え付け1~2週間前にリーフエナジー液肥1,000倍希釈液を圃場全体に散布する。(10アール当たり150~200L)

(2) 定植後

本葉が出てきた頃から芽かきまでの間に1~2回2,000倍希釈液を葉面散布する。除草剤散布時や防除時についてに行う。(まず液肥の2,000倍希釈液を作り、その中に除草剤や農薬を入れる。)

(3) 芽かき後

芽かき後から開花前までに2,000倍希釈液を1~2回葉面散布する。

(4) 開花後

開花後の塊茎肥大期に2~3回2,000倍希釈液を葉面散布する。
この場合もアブラムシや菌核病、軟腐病などの防除のついてに行えばよい

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

お茶での使用方法(10アールあたり)

リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

2月中旬 春肥施用直前	リーフエナジー液肥2,000倍希釈液300Lを葉面散布
3月下旬 萌芽前防除時期	毎月、防除をするときにあわせて葉面散布する。 まずリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を作り、 その中に規定量の防除薬をよく溶かし込み葉面散布する。 ※石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性農薬との混用はお避けください。
4月上中旬 1番茶~2葉期の防除期	
5月下旬 1番茶摘採後:2番茶芽出し促進	
6月下旬 2番茶1~2葉期の防除時	
7月下旬 土づくり施肥時施用	
8月下旬 秋肥施肥時施用	
11月上旬 秋整枝後	リーフエナジー液肥2,000倍希釈液300Lを 樹冠から枝・幹を洗うように散布

自動灌水の設備がある場合、灌水する時にリーフエナジー液肥2,000倍液をご使用いただくと手間がかかりません。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

* 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

* 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。

* 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp



HAYUHA

リーフエナジー

お茶での使用方法(10アールあたり)

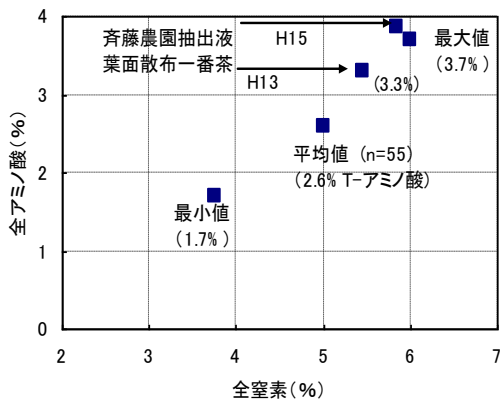
リーフエナジーは肥料というよりはまったく新しいタイプの光合成増強資材です。主に葉面散布により作物の光合成を20~30%高め、高収益・高品質・減農薬など21世紀の「食と農」を支える環境保全型農業資材です。

- (1) 春肥期(2/下~3/中)
・リーフエナジー液肥0.7L+水1,500L樹冠灌水(2回)
- (2) 一番茶摘採前(4/下~5/中)
・リーフエナジー液肥0.1L+水300L葉面散布(光合成強化)(2回)
・リーフエナジー液肥0.1L+水300L葉面散布(減硝酸チツソ)(2回)計4回
* 葉面散布は4~7日間隔 4回目は摘採4~5日前に終える
- (3) 一番茶摘採後(5/上~5/中)
・リーフエナジー液肥0.3L+水1000L樹冠灌水(芽出し促進)(1回)
- (4) 二番茶摘採前(5/下~6/中)
・リーフエナジー液肥0.1L+水300L葉面散布(3回)
- (5) 夏・秋肥期(8/ ~9/)
・リーフエナジー液肥0.5L+水1,500L樹冠灌水(2回)

ハピンピ液肥合計量=3.5L/年

効果

発根量増大 肥料吸収向上 減チツソ肥(施用40kg) 葉緑素・光合成の増強
茎葉中硝酸性チツソ減少 耐病性向上(減農薬) 茶葉摘採期延長(クキ木質化遅れる)
晩霜被害軽減(高糖度) 有機質の分解加速 うまいと増収(20~30%アップ)



一番茶のアミノ酸・チツソ含量

平成13年産分析

お茶の「うま味」はテアニン含量で決まります。テアニンはおもに茶樹の根で合成します。グラフ右肩の斜線区に入れば農水大臣賞が受賞できる品質といわれます。

リーフエナジー液肥2,000倍希釈液を、他の液肥希釈水として、ご利用ください。

* 防除の際に農薬を希釈する水としてリーフエナジー液肥2,000倍希釈液を用いると、液肥の散布の手間が省けます。さらに、希釈水が弱酸性となるので農薬の効きが良くなり効果的です。

その際、2,000倍水を先につくり、農薬を加えてください。

- * 石灰硫黄合剤、ボルドー液等の強アルカリ性農薬との混用は避けてください。
- * 希釈水に少し沈殿が生じることがありますが有効成分のミネラルが析出したものです。
- * 希釈水は毎回使い切りください。

Beans

株式会社ビーンズ

〒108-0074 東京都港区高輪4-19-8-302
TEL 03-5843-5928 mail: info@beans-japan.jp